

岩手・宮城内陸地震に係る山地災害対策検討会の 最終とりまとめ概要

平成20年岩手・宮城内陸地震において発生した地すべり、山腹崩壊、溪流荒廃等の山地災害の復旧対策や復旧計画の策定のため、7月12日から本日まで計8回にわたって標記検討会で検討を重ねてきましたが、本日、最終とりまとめが行われましたのでお知らせします。概要については以下のとおりです。

本日とりまとめられた検討会最終報告を踏まえ、地区毎の治山事業全体計画を策定し、事業評価を行った上で事業期間、全体事業費等を決定する考えです。

（検討対象とした流域）

宮城県内：一迫川上流域
二迫川上流域（荒砥沢ほか）
三迫川上流域（耕英地区を含む）

岩手県内：磐井川上流域（産女川上流域、市野々原地区ほか）
胆沢川上流域

（整備目標）

融雪や豪雨等による山腹崩壊の拡大防止と荒廃溪流からの土砂流出を抑制することにより、

- ・山地災害による地域の安全性の向上を図ること
- ・荒廃した森林を復旧し、森林の有する公益的機能の回復を図ること
- ・地域の自然環境の保全・形成に寄与すること

を目標とします。

（整備計画）

上記流域の国有林内（栗原市耕英地区等の民有林を一部含む）を対象として、今後策定する治山事業全体計画の事業期間内に、以下の対策を計画します。

宮城県内：溪間工（治山ダムの設置） 142基
山腹工（地すべり対策含む） 71箇所

岩手県内：溪間工（治山ダムの設置） 82基
山腹工（地すべり対策含む） 22箇所

計：溪間工（治山ダムの設置） 224基
山腹工（地すべり対策含む） 93箇所